

第2回幼稚園保護者交流会 参加報告書

令和5年5月28日(日)

報告者 幼稚園特別支援委員会 副委員長 田城 敏史

- ・開催日程：令和5年5月28日(日)
- ・開催主管：(一社)全国国立大学附属学校PTA
- ・開催場所：オンライン開催 (Zoom)
- ・開催事業：第2回幼稚園保護者交流会
- ・事業内容：国立大学附属幼稚園に在籍する園児の健やかな成長につながる情報共有および保護者間交流の促進
事業テーマ：附属幼稚園での主体性を重んじる保育によって豊かに育まれる子どもたち
- ・開催規模：本会加盟27校から申し込みのあった保護者・教職員計100名および本会関係者10名

13:30～16:30

「幼稚園保護者交流会」

事業テーマ 「附属幼稚園での主体性を重んじる保育によって豊かに育まれる子どもたち」

講演 演題：「附属幼稚園の保育と附属幼稚園に期待される役割
～文部科学省委託研究から」

東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎 副園長 山田 有希子 先生

パネルディスカッション

- ① 子どもの遊びを保護者が見守るポイント
- ② 幼少接続機の子どもの関わり方
- ③ 保護者へのメッセージ

パネリスト

宇都宮市立富屋小学校 校長 五十嵐 市郎 先生
埼玉県教育局北部教育事務所秩父支所 主席指導主事 栗原 敏枝 先生
やまなし幼児教育センター 相談役 荻原 ひろみ 先生
東京学芸大学附属幼稚園 副園長 山田 有希子 先生

コーディネーター

全国国立大学附属学校連盟 事務局長 田中 一晃 先生

グループディスカッション

3グループ 26名参加

講評 全国国立大学附属学校連盟 事務局長 田中 一晃 先生

【所感】

今回、「附属幼稚園の保育と附属幼稚園に期待される役割」をテーマに講演並びに「附属幼稚園での主体性を重んじる保育によって豊かに育まれる子どもたち」についてパネルディスカッションを開催しました。

子育てにおいて、一人で頑張るのではなく助けてもらう事は恥ずかしいことではなく助け合えるのが附属の素晴らしいところでもあるのだと改めて感じる事ができました。最後に各先生方から「愛は勝つ」お子さんを信じて愛を注ぎ続けてくださいと心強いエールも併せていただき、子どもたちと共にさらなる成長をしていくことの大切さを学ぶ事ができました。



幼稚園保護者交流会 実施報告書

幼稚園特別支援委員会委員長 齋藤 伸

開催日程：令和4年4月29日（金・祝）

開催場所：オンライン開催（Z o o m）

参加者：本会加盟21校から申し込みのあった保護者・教職員計99名
および本会関係者8名

講師：佐々木 晃 先生（鳴門教育大学附属幼稚園 前園長）

泉 真理 先生（上越教育大学附属幼稚園 前副園長）

荻原 ひろみ 先生（山梨大学教育学部附属幼稚園 副園長）

統括：田中 一晃 先生（全附連 事務局長）

・オープニング

・パネルディスカッション

事業テーマである「附属幼稚園での自由な保育によって育まれる子どもたち」に関わることをベースに、附属幼稚園で実践されている特徴的な教育を先生方の心温まる数々のエピソードも交えながら田中先生の非常に柔らかい雰囲気での進行のもとお話いただいたが、どのお話も大変興味深く、心に残った。

参加された方々はディスカッションの内容と画面越しに伝わる先生方のお人柄から附属幼稚園の取り組みにあらためて理解と安心感を深められたと感じた。

・交流会

希望者のみの参加であったがディスカッションで講師としてお話いただいた先生方には保護者からの様々な質問にお答えいただきつつ、ご意見をお聞きすることができた。

また、現職の先生方も参加していただいていたが和やかな雰囲気のもとで普段の「先生と保護者」の関係では尋ねにくい質問のやりとりも見受けられた。

保護者間の地域を超えた交流も目的とした交流会であったがこれをきっかけとした交流事業が今後生まれることを期待したい。

・クロージング

本会の神余直前会長の講評のあと田中先生の統括にて終了となったがお子さんとともに参加されていた方も多くいたことに気づき、小さな子とともに気楽に参加できる会であり続けてほしいと感じた。

